

保護者各位

屋良っ子 学び便り

漢字学習 どのように取り組んでいる？

早いもので9月になり、1学期の学習まとめに取り組む時期となりました。

さて、右は漢字練習をしているある児童のノートですが、字が少しずつ変化していることにお気づきでしょうか？

「代」と「向」の漢字を繰り返し練習しています。

しかし、後半になると「向」の漢字が「何」のようになり、「代」の字もくずれてきています。

なぜ、このようなことが起こるのでしょうか？

認知心理学者の佐藤浩一先生によると、同じ作業をずっと繰り返すと、脳が飽きてしまうそうです。

そのうち、注意力が薄れ、字形が乱れたり、時には、間違った字に化けたりすることが起こるのです。

そこで、練習にも変化をもたせることが有効になります。例えば、

①方向、東向き、代わり、代金のように
熟語や言葉集めをする。

②字形の似た「向」と「何」で字の違いを認識する。

③部首と関連づけて字の意味を知る。

代→にんべん→人がいれかわるという意味

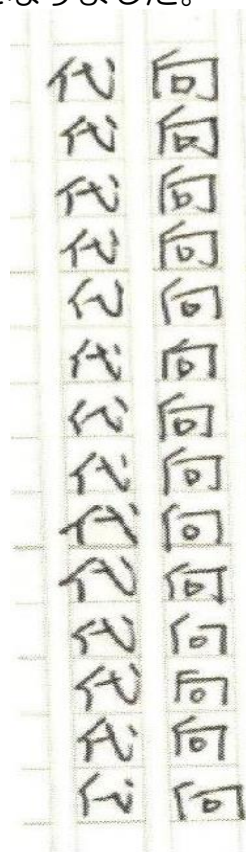
④漢字の使い分けを確認する。

代わる…代わりの役をする。

変わる…うつり変わる（変化する）。

⑤送りがなの違いを確認する。

向かう、向く、向こうなど…。



家庭学習でも是非、取り入れてみてください！

週時程が通常に戻ったことにより、今週から金曜日のチャレンジタイムの漢字テスト（1年生の漢字テストは2学期から）も再開されます。前日の木曜日の家庭学習には、学校全体で漢字練習に取り組むことになっています。ご家庭でも取り組みへの声掛けをお願いします。また、金曜日の夜などには漢字テストの結果を聞いて、激励等も宜しくお願いします。